

科目名				授業の種類		授業担当者	
子どもの保健 I				講義		藤森克之・増田英子	
学科	学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	必修・選択	
小児保健	1	4	60	30	通年	選択	
[授業の目的・ねらい]							
<ul style="list-style-type: none"> ・将来の保育士や幼児教育を目指す学生が、日常の子どもの保健の実践のための基礎として、小児科学の基礎的な事、および母子関係・子どもをめぐる社会環境等について学び、これらの改善をめざし現在の社会の制度や施策について学んでゆくことを目的とする。 ・子どもの心身の発達・発育の状況、特徴を知る。 ・食生活、生活環境、養育者の接し方が、その発達にいかにかかわるかを理解する。 ・現在生じている生活環境・社会文化の問題を理解し、上手な養育対応を知る。 ・発育・発達の途中にある小児の特殊性を理解し、その結果、保健活動の実践に役立たせることを目標とする。 							
[授業全体の内容と概要]							
<ul style="list-style-type: none"> ・小児の保健の知識と母子保健の現状と母子保健行政の知識を習得する。 ・子どもの保健の最前線のひとつである「小児医療の現場」からみてとれる、子育てをする保育士や親に今必要なすぐに役立つ具体的なものにする。 ・教科書にないが、保育者に必要な情報や知識をオリジナル資料を用いて伝える。 ・心身共に発達過程にある小児について、「代表的な疾患、重要と思われる疾患」の知識を深める。また、小児の死因の第1位である事故について、その実態を知り、予防や救急処置について学ぶ。 							
[受講上の注意事項]							
<ul style="list-style-type: none"> ・質疑応答を多くもち、積極的な参加を！受講中の質問大歓迎！ 							
[使用テキスト]				[評価基準]			
子どもの保健 (巷野悟郎 編) 診断と治療社				授業終了後、定期試験を実施する。定期試験の他、授業への取り組み姿勢、授業出席やレポート等も合わせて、総合評価を行う。			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目	授業内容					
1	子どもの健康と保健の意義について	I 子どもについて:特徴、乳児・幼児・児童の範囲、子ども期の区分 子どもの保健の目標:子どもの保健の意義、子どもの保健と育児 子どもの保健の実践:子どもの特徴の理解、子ども保健の心構え(保育士として) 実践の立場による相違					
2	子どもの保健の構成、母子保健	子どもの保健の構成(子どもの健康管理のための医療、健康福祉を含有) 母子保健:子どもの保健と母性保健、母子保護の沿革、母子保健法、児童憲章					
3	地域における保健、子どもの発育・発達と保健	地域における保健(家庭における育児の重要さ、地域保健、地域と虐待防止) II 子どもの発育・発達と保健 子どもの発育、身体発達:体重、身長、頭部胸部、四肢、歯、骨について					
4	身体発達	身体発達の経過:年齢的経過(スキャモンの発育曲線)、性差、身長比率(頭身)、 身体発達に影響する因子:遺伝(性差、親、民族)、妊娠時(胎児側の因子、母子側の因子) 出生後の因子:栄養、個人生活、家庭の状態、社会事情、自然環境 身体計測:体重、身長、座高、頭囲、胸囲、皮下脂肪厚					
5	身体発育、生理機能の発達と保健	身体発育値:乳幼児、学齢期、少年期 身長別体重 発育指数:カウプ指数 III 生理機能の発達と保健 体温:体温、測定、子どもの体温、体温に及ぼす因子(熱の産生と体温の放散)、発熱とその考え方 呼吸:呼吸の型:乳児の呼吸、呼吸数 脈拍と血圧:脈拍、血圧 感覚:視覚、聴覚、味覚、臭覚、触覚 排泄:排尿と排便について					

6	睡眠、自律神経の働き	睡眠:睡眠の発達、レム睡眠 自律神経の働き:生活と自律神経(寒さ、生活、喘息) IV 運動機能の発達 運動機能の発達:正常な運動発達、一般原則、精神機能との関係 新生児期の運動:原始反射、姿勢 乳児期の運動機能:ひきおこし反射、首のすわり～一人歩き、指の動き
7	幼児期の運動機能、体力、骨格筋の成長と発達	幼児期の運動機能:運動機能の発達、利き手 体力:体力とは、防衛力、免疫について、行動力 骨格筋の成長と発達
8	母子保健の現状、母子保健行政	IV 母子保健の現状 出生、死亡、乳児死亡と栄養法 V 母子保健行政 母子保健行政の歴史:我が国の母子保健行政の歩み、市町村における歩み 母子保健行政の組織と現状:我が国の母子保健の組織 母子保健対策の現状:保健指導、訪問指導、健康診査、健康診査の時期と要点 母子保健対策、母子健康手帳の交付と利用、予防接種、母子保健の医療対策、健やか親子21
9	母子保健の基盤整備、児童福祉対策、児童虐待と対策について	母子保健の基盤整備:思春期の保健、乳幼児突然死症候群と対策、食育、子どもの心の病対策 児童福祉対策:児童福祉法、児童福祉施設 児童虐待と対策について
10	中間テスト、タバコの有害作用について	中間テスト、タバコの有害作用について
11	子どもの精神・神経運動発達①	・乳幼児の運動発達の流れを理解する。
12	子どもの精神・神経運動発達②	・各段階でよく生じるつまづきと対処方法を知る。 ・一般的な子どもの精神発達の流れを理解する。その流れにあわせた接し方養育がわかる。
13	子どもの食事、栄養と食生活①	・乳児栄養(母乳・人工乳・離乳食) 小児の体重別必要カロリーを計算できる。
14	子どもの食事、栄養と食生活②	・成人の栄養―自らを通し栄養について学ぶ。 ・現代の食生活の抱える問題点を理解し、食育に役立てる。
15	子どもの日常生活と環境	生活習慣やしつけの意義やふさわしいありかた、家庭、園、地域の役割。
16	精神機能(対人認知・情緒)と社会性や人格の発達①	・対人認知の発達やコミュニケーションの発達がいかに愛着形成や情緒や社会性を形作るか。 ・「そだてにくい子」の具体的特徴を知り、原則的な応対を知る。
17	②	・ストレスが子どもの心身に症状を出すことを具体的に知る。
18	子どもの心の問題、子どもの虐待	・子どもの社会性や情緒の特徴に合わせて養育するコツをイメージできる。 ・父母をサポートできる。
19	復習と評価のためのテスト	筆記試験(最重要点の理解と記憶を強化する)
20	発達障害と保育	テスト講評/身体障害、発達障害を知り「発達を援助できる保育士」のイメージをもてる。
21	新生児および先天異常	胎児・新生児の特徴と注意すべき疾患
22	感染症その1	ウイルス感染症
23	感染症その2	細菌感染症その他
24	代謝と栄養の障害	身体発育の異常および各種栄養障害
25	内分泌疾患	代表的な内分泌疾患

26	免疫およびアレルギー	免疫のしくみとアレルギー疾患
27	消化器疾患	ありふれた消化器疾患と緊急処置が必要な消化器疾患
28	血液疾患	赤血球、血小板および白血球の病気
29	心疾患および腎疾患	先天性心疾患および川崎病、腎疾患
30	その他の疾患と、こどもの事故	その他の疾患、こどもの事故の実態と予防・救急処置